

聖書箇所:ピリピ人へ手紙3章17~21節

「キリストの『足跡』をたどって」

【1】 十字架の道をたどる

- ・パウロの「私に倣う者となってください」(ピリピ 3:17a)という発言の背景
 - キリストを知ることのすばらしさを知った自分と同じ経験をしてほしい
 - キリストに倣う「私に倣う者となってください」(参照1コリト 11:1)
- ・パウロの語る良い手本と、悪い手本
 - 良い手本：私たち(パウロ、テモテ、エパフロディト)
 - =十字架の道を歩む
 - 悪い手本：「ユダヤ主義者」たち
 - =キリストの十字架の福音を否定(ピリピ 3:2)
- ・「手本」(tuπος)の意味
 - 石ころが別の場所に移動した後に残る「跡」
 - 行軍等で生じた「轍」(わだち)

【2】 十字架の敵として歩む

- ・軍隊が壊滅するのは道を誤る時
 - 「キリストの十字架の敵として歩…最後は滅び」(ピリピ 3:18~19a)
 - 進むべき道を誤ると滅びへ向かってしまうのは私たちも同じ
- ・滅びに向かう道 = 「欲望を神とする」道
 - 自分を造られた神に相応しい価値を帰せず(神を神とせず)
 - 自分の欲望を神とし、地上のことだけを考え、「欲望」に仕える生き方

【3】 天の故郷を目指して

- ・「何が良い人生(いのち)」か？
 - 「神に栄光を帰し、永遠に神を喜びとすること」(ウェストミンスター小教理問答)
- ・神に栄光を帰す生き方とは
 - 神の時を待ち望む生き方。その先は「滅び」ではなく「いのち」。

▷あなたは何を目標に目指して歩んでいますか？天の国籍を持つ者として、キリストに倣いその足跡をたどることができますように。

